

テーマ：BCP策定を通じた信用力向上

タイトル：事業継続は他社との差別化、信用力向上に寄与



地震

台風

火災

感染症

ポイント

- 被災時の優先業務を定め、たうえで事業継続することは他社との差別化に繋がる
- 取引先との関係継続や最終顧客へのサービス提供が信用力向上に寄与

BCP策定のきっかけ

- 廃棄物処理という社会インフラの一翼を担う同社は、大規模な災害が発生すると、自社事業の復旧のみならず、災害対応が必要。発災時に、災害廃棄物処理だけでなく、通常の一般廃棄物の処理が継続的かつ確実に実施されることが、公衆衛生の確保及び生活環境の保全の観点から極めて重要と考えている。企業が「社会の公器」である限り事業継続（ゴーイング・コンサーン）は経営者の責任で使命と考えている。
- 1991年及び2004年に到来した台風により生じた災害廃棄物は、収集車400～500台にも及び、収集完了まで2ヶ月かかった。通常業務が終了した後に対応することになるため、作業は深夜にまで及び、また、水害は比較的暑い時期に発生するため、社員の労働環境が悪化するなど、対応に非常に苦慮。このような経験から非常時対策の必要性を感じていた。

BCP策定時の課題と解決方法

- 中小企業庁が中小企業向けのBCP策定を推奨していたことで、2006年秋に社内プロジェクトを立ち上げ、2007年に初版を策定。しかし、中小企業庁が中小企業向けに公表している資料に沿いながら作成したものであり、必ずしも自社の業務に沿った内容ではなかった。
- 2011年に発生した東日本大震災の情報を収集し、以下の教訓を得たことで、BCPを大幅に見直し。なお、改訂に当たっては福岡県中小企業団体中央会の専門家派遣を活用した。
 - ・ 社員の安否確認：社員が被災前と同じように仕事に従事できるのか否か
 - ・ 復旧目標の表明とリーダーシップ：経営者の決断と実行のスピード
 - ・ 被災後の限られた経営資源で継続する業務の継続
 - ・ 代替手段の確保と有効性
 - ・ 分散化（卵は同じカゴに盛るな）の効果
 - ・ 社員の勤務態勢：インフラが復旧していない状況下での変則勤務
 - ・ 復旧資金の確保
 - ・ 取引企業からの支援
 - ・ 耐震補強や訓練の効果

策定した内容

- BCPの想定災害は、①震度6強程度の地震、②猛烈な台風、③火災、④感染症による集団感染、の4つとし、清掃車の車庫を3棟に分散したり、発電機・太陽光発電・電気自動車による電気供給の確保、クラウド及び自社サーバによるデータ管理保存、NTT及びケーブルテレビ回線による通信回線の確保、防災関連用品の備蓄、購買先・供給先の多様化、緊急連絡網とSNSによる社員の安否確認等の対策を講じている。
- 加えて、ISO9001、ISO14001等各種マネジメントシステムの運用等災害以外の危機管理対応もマニュアル化。ISOとBCPは、顧客に良質なサービスを提供していくという点で共通していると考えている。
- 災害発生時、生活・避難所ごみ等の公衆衛生の悪化に繋がるものは、非常時優先業務に指定し、一週間以内を目途に収集体制を確保。次に、集積所等からごみがあふれ、車や人の往來の支障を及ぼすことのないように、燃えないごみや粗大ごみに着手するように定めた。その後、災害廃棄物は、10日～2週間ですべて処理できるよう計画するなどごみの種類によって優先順位を定めた。
- 新入社員には自社教材、防災ブック「東京防災」を用いて2時間程度の研修を実施。また、全職員を対象として年に1回程度、座学60分、実技90分の研修会を行っている。加えて、消防署の指導を受け、年1回避難訓練・消火訓練を行っているが、単に消防署に連絡するだけでなく、中小企業団体中央会と共同で模擬訓練も実施。その他、3年に1回、心肺蘇生法を含む救命講習も実施。

BCP策定後の効果

- 被災しても継続した取引先との契約関係の維持につながり、最終顧客である住民へのサービスを途絶えさせず、快適な生活環境維持の一助となる。これがひいては他社との差別化に繋がるとともに、地域からの信頼感が高まり、企業の社会的責任（CSR）にも繋がっている。
- 社員の安心感、信頼感、帰属意識の向上に加え、経営や業務全体を俯瞰できる「鳥の目」、具体的な災害毎に被害を想定し、リスク評価する「虫の目」が養われたことで、社員の意識改革に繋がった。



会社の外観



災害時のみ使用する防災用品

【会社概要】

企業名：有限会社共栄資源管理センター小郡
所 在：福岡県小郡市上岩田766
資本金：550万円
従業員数：42名
業 種：廃棄物処理業
企業HP：<https://www.kyoeisigen.co.jp/>

活用施策

- ・福岡県中小企業団体中央会の
 専門家派遣事業